

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		蔵敷公民館事業費 [蔵敷公民館事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業番号	4
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央公民館 課 蔵敷公民館					係			課長名	越中 洋	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1-2 ・ 5-3		
【施策名】 生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立								総合計画書 (ページ)	35・110		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				芋窪・蔵敷地区に居住する市民の数(4月1日現在) → 公民館の利用は地域で制限するものではないが、近隣住民の数とした。						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
地域で、学習の場に参加できる。				→ ①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(4月現在)							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤蔵敷公民館だよりの発行				→ ①利用者連絡会等開催回数(利用連・利用懇・陶利連) ②講座開催回数 ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤蔵敷公民館だよりの発行回数							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人	10,095	10,162	10,269					
	成果指標	②の数値	人	① 1,477 ② 20,807 ③ 53	① 1,661 ② 17,672 ③ 52	① 403 ② 10,131 ③ 47					
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方							
活動指標	③の数値	回・%	① 18回 ② 18回 ③ 5回 ④ 58.8% ⑤ 3回	① 21回 ② 20回 ③ 4回 ④ 60.44% ⑤ 3回	① 16回 ② 25回 ③ 17回 ④ 45.22% ⑤ 3回						
3 経費	事業費(実績)		円	11,630,994	8,546,706	7,247,282		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	11,338,884	8,291,099	7,131,552					
		特定財源(国・都・他)	円	292,110	255,607	115,730					
		(うち受益者負担)	円	94,110	81,607	28,730					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	16,488,000	16,620,000	16,760,000					
	職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	28,118,994	25,166,706	24,007,282						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和53 年度								
	(2) 環境の変化		昭和53年11月20日、市内4番目の公民館として開館、市民の生涯学習を目的としている。 平成27年10月からインターネットを利用した公共施設予約システム 令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大及び拡大防止施策で、休館、利用人数制限、利用方法の制限、時間帯(夜間)の新規予約の制限等を実施。								

事業名称	蔵敷公民館事業費 [蔵敷公民館事業]					
担当部署・課長名	中央公民館	課	蔵敷公民館	係	課長名	越中 洋

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染予防の対策を講じた事業実施形態を行った。 幼児親子対象、小中学生を主な事業対象とした新規事業を3本(講座1、イベント事業2)を行った結果、事業規模の拡充及び継続を希望する声が上がった。また、子ども対象事業を企画・運営する組織が設置された。 花や花壇づくりをテーマに実施した講座から、蔵敷公民館施設内の花壇の整備等を自主的に協力する市民が増えた。					
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：①②③⑤⑥(市報・市HP・ツイッター・こうみんかんだより・地区館だより)⑦				
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()				
7 課題	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点					
	市民協働を行う人材育成及び、グループ(組織)化を目的とした主催事業については、組織化後の取り組み内容や、活躍の場の提供などある程度準備、または計画しておき目的意識や充実感、達成感をコンスタントに実感できる環境を整備すると成功の確率が高まる。					
	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 今後も、子育て世代対象の講座を実施していく予定であるが、ニーズにあったものを実施していくことができるか検討する必要がある。					
8 施策貢献状況	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。					
	新規事業として、幼児親子対象の水遊び事業、小学生親子をメインの対象とした手持ち花火イベントを実施した。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、利用人数制限や、人と人との距離を保った事業実施、実施形態として蜜を避けた(屋外での実施等)形式を取り入れて事業を実施した。					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 地域のニーズや、事業の実施意義などを現在の状況と併せて再考し、継続実施されている事業(講座含む)が本当に今現在必要かを精査し、廃止や改革を行う。 事務処理の合理化を図り、重複は取りやめ、簡略化できる部分や、Excelの利用により合理的かつ効率的に処理できるようにしていく。					
9 今後の方向性	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)					
	施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 <input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名(公民館事業全体)					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)					
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止					
	【取組内容】 公民館という施設を設置することで、社会教育法で定められた人員配置や業務、存在意義にとらわれるため、時代の変化に対応しにくい。生涯学習センター等の市長部局の施設として組織改正し、人員配置や業務範囲を柔軟かつ合理的に行えるように改革していくことも視野に入れた方策を実施していく必要があると考える。					
9 今後の方向性	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	組織改正、規則改正、住民及び利用者とのヒアリング ほか。					